

【オーハシヨースケ・プロフィール】 演劇教育家 身体詩パフォーマー



NPO 法人祈りの芸術 TAICHI-KIKAKU 理事長

プレイバックシアター研究所専任講師

チェスター大学芸術教育センター(RECAP)の客員研究員

身体詩パフォーマー、身体表現教育家、アプライドドラマ・プラクティショナー、

早稲田大学文学部演劇専攻卒業 1988年モリムラルミコと共に「言葉を超えて伝わる演劇」身体詩の劇団「TAICHI-KIKAKU」を設立。これまで世界24ヶ国 100都市以上で公演活動。1995年エジプト政府主催カイロ国際実験演劇祭で身体詩「生きるひと(作演出:モリムラルミコ)」の演技が高評価を得て BEST ACTOR AWARD を受賞。2001年国際交流基金フェローシップを得て仏語圏のベルギーブリュッセルの IAD 芸術大学に派遣、1年間身体詩を指導。2006年文化庁新進芸術家海外派遣で英国チェスター大学にてアプライドドラマを共同研究。その他、世界各地の国際演劇祭や文化庁セミナーや大学(大阪公立大学大学院都市経営科、文教大学国際学部など)国内外1万人以上の人々に身体詩とアプライドドラマを指導している。近年は企業研修、自治体研修も多数。2016年チェスター大学芸術教育センター(RECAP)の客員研究員として、アプライドドラマを創ったアレン・オーエンズ教授と日本向けの新しいアプライドドラマの共同開発に取り組む。また高校演劇の全国大会審査委員をはじめ、全国各地の高校演劇ワークショップの指導や、中学校の「総合的学習の時間」の身体表現教育など、表現者としてだけでなく演劇教育にも力を注ぐ。2005年福永令三児童文学賞・ことりのほんばこ賞受賞
◇著書『ゼロ秒で相手に伝わる「立ち位置」の法則』(かんき出版刊)『二宮尊徳に学ぶ天命の見つけ方』(知致出版社)『アートベースメソッド』(TAICHI-KIKAKU 出版)

*以下は、日本学校演劇教育会でのオーハシヨースケの講演会「アプライドドラマ(応用ドラマ手法)とは何か?~演劇の知と学校の知~」の YOUTUBE 映像です(45分間)

<https://youtu.be/V-1rmhPYPZo>

*アプライドドラマの紹介ビデオ

<https://youtu.be/blLe1BEWI4E>